

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 松江 小学校

作成日

令和 2年 2月27日

1 教育目標

「よく感じ、よく考え、よく行う」子どもを育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○全国学調、県学習到達度調査で、県平均を上回る ○勉強がわかる85%	○道徳の授業が楽しい90% ○学校が楽しい95% ○いじめの解消100%	○朝ごはんの摂取率100% ○体育が楽しい80%	○家庭・地域との連携(保護者90%) ○学校の情報がよく伝わった(保護者80%)
重点目標に対する意見	○基礎基本を大切にしていこうことはたいへん重要である。その上で、平均まで高めたいという目標は適切である。自主学習に取り組んでいることも評価できる。	○学校が楽しくなり、いじめが減少していくことと、道徳の授業で規範意識を学ぶことが重要なことである。その上で、いじめの早期発見努めることは大切である。	○近畿小学校体育研究会を開催することとなり、一層の体育授業の充実を図ることで、体力向上につながる事が理解できる。	○地域との結びつきが強い学校なので、いろいろな行事で学校と関わる大人が多い。今後も、地域との連携を大切にし、学校からの情報発信を楽しみにしている。
取組状況に対する意見	○基礎基本を大切に、子どもたちの学力向上を目指していることは授業を参観してもよくわかった。 ○意欲的に学習に取り組んでいる子が多かった。	○地区の人権委員会と合同で毎年人権講演会を開催している。講演前は、全学級で道徳の授業公開があり、自分の意見をしっかりと持ち学習に取り組んでいる姿がわかった。	○朝ごはんの摂取率が目標値ではなかったことが少し残念である。朝食を食べさせるための啓発を高める必要がある。ほとんどの児童が8時までに登校を完了している。集団登校の成果だと感じる。	○地域の大人が学校にしっかり関わっている。 ○本年度作成した「新松江今昔」の本を利用して6年生がありがとう集会で地域の学習発表をしてくれた。たいへんよかった。
取組の適切さの検証結果に対する意見	○保護者アンケートから、基礎的な学力が身についた80%という評価となった。もう少し高める必要がある。 ○児童アンケートから、授業が分かる80%とある。指標の85%は適切な目標である。もう一歩の努力を求む。	○いじめの取り組みが分からない保護者が13.4%あり、保護者への連絡を密にとる必要がある。 ○アンケートにより、学校が楽しいという数値が高いので今の取り組みを続けることが大切である。	○ほとんどの児童が8時前に登校している現状において、朝食を摂取することは大切である。今後とも、摂取率を調べるために、定期的に生活アンケート等を実施する必要がある。	○保護者には各お便りに加え、昨年度から校長室便りを発行し、学校の情報を伝えている。保護者も、連携について92%の評価となっている。
改善方法に向けての意見	○自主学習の充実を改善点に挙げている。基本的な宿題に加え、自らが創意工夫できる家庭学習の充実により、一層の学力向上が期待できる。新たな学習スタイルに取り組むということで、授業が変わるかどうか検証していきたい。	○いじめ解消については、学校だけでなく保護者の協力も必要であると考えるので、連絡を密にとることがたいへん重要な対策である。 ○学校生活に楽しさと充実感がいっぱいなる取り組みを充実させてほしい。	○近畿小学校体育研究授業を行い400名以上の参加者が来校したことは、児童にとっても有益なことであった。 ○朝食摂取率100%を目指し、今後とも家庭への発信に心がけてほしい。	○地域の夏祭りが小学校で開催された。児童も保護者・学校も全面的に協力してくれた。地域と学校・保護者が一体となり、益々、学校や地域を盛り立てていければと考えている。

3 その他のご意見